

天然歯の生体模倣

Biomimetic Approach in Restorative Dentistry



青島 徹児 先生

青島デンタルオフィス開業(埼玉県入間市)
E.E(Esthetic Explorers)副会長
日本補綴歯科学会会員
日本歯科審美学会会員



近年、コンポジットレジン(CR)やボンディングシステムは飛躍的向上を遂げています。しかし、最新のCRとボンディングシステムで修復したからといって、長期的に安定し、患者さんに満足を与えられるとは限りません。術後の結果は術者の技量に100%左右されるため、自身の技量の向上こそが、術後の結果やボーダーの拡大に繋がります。

審美と機能の両立を達成するには天然歯の形態や構造を観察し、天然歯を模倣することが重要であり、Direct Restorationsにおける技量向上の一番の近道であると考えます。天然歯の構造を理解することが色調再現や生体模倣(Biomimetic)となり、審美的・機能的長期安定へと繋がります。

今回は「天然歯の生体模倣 Biomimetic Approach in Restorative Dentistry」と題して、Slot technique、Snowplow technique、mono_laminar technique、bi_laminar techniqueなどのテクニックの詳細と、新たにtri_laminar technique、penta_laminar conceptの詳細を加え、どの様に天然歯を模倣するのか、その概念についてお話ししたいと思います。

【日時】2018年4月22日(日) AM10:00~12:00 【対象】歯科医師

【定員】130名(定員になり次第締切)※お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。

【会場】マロニエプラザ 栃木県宇都宮産業展示館(栃木県宇都宮市元今泉6-1-37)

3月5日より下記申込書にて受付いたします。
なお、誠に勝手ながらお申込受付はFAXのみとさせていただきます。

2018年4月22日(日) アマガイドンタルショー 青島 徹児 先生 特別講演会 お申し込み書

専用 FAX : 048-797-7785

FAX お申し込みをいただいた後に、お申し込み書は確認のため、弊社営業担当へ必ずお渡してください。

貴医院名		ご芳名	
ご住所		TEL	
		FAX	

※ご提供頂きました個人情報は、今回の講演にのみ利用し、管理いたします。

担当者: